令和7年度　高松市外郭団体　経営評価シート

1　団体情報

No.	7	種別	公益財団法人	団体名	公益財団法人　高松市文化芸術財団		
所在地	香川県高松市サンポート2番1号						
電話番号	087-825-5000			FAX番号	087-825-5040	所管部局	創造都市推進局 文化芸術振興課
団体ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ	https://www.sunport-hall.jp/						
代表者職氏名	理事長　橋本　一仁			設立年月日	平成15年1月29日		
基本財産	10,000　千円			市出資等額(割合)	10,000　千円	（ 100.0% ）	
設立目的	幅広い市民とともに、文化芸術活動の振興・普及を図り、人と人、心と心がふれあう、高松らしい文化の創造と交流に寄与することを目的としております。						
事業概要	1.市民の自主的な文化芸術活動に対する支援、育成 2.市民の文化芸術活動への参加促進および鑑賞機会の提供 3.文化芸術の交流、連携および情報提供 4.地方公共団体から委託を受ける文化施設等の管理運営 5.地方公共団体から委託を受ける文化芸術の振興普及 6.その他目的を達成するために必要な事業						
評価対象決算期	令和7年4月1日　～　令和8年3月31日						

2　組織の状況(4月1日現在)

	令和7年度	令和6年度	令和5年度
役員数(非常勤含む)	11 人	11 人	11 人
うち市派遣(兼務含む)	2(非常勤) 人	2(非常勤) 人	2(非常勤) 人
うち市退職者	1 人	1 人	1 人
役員平均年間報酬	389　千円	388　千円	386　千円
職員数(非常勤含む)	32 人	28 人	28 人
うち市派遣(兼務含む)	0 人	0 人	0 人
うち市退職者	4(常勤役員除) 人	4(常勤役員除) 人	4(常勤役員除) 人
職員平均年間報酬	3,225　千円	3,156　千円	2,950　千円

3　主要事業一覧及び概要

事業名	事業概要	令和7年度事業費
高松市文化芸術ホール指定管理業務	高松市文化芸術ホール指定管理者選定要項等に基づき、同ホールの管理運営を行う事業	403,531　千円
高松市文化芸術ホール自主事業	高松市の文化芸術の振興やホールの活性化等に寄与するため、指定管理者として行う事業	15,000　千円
高松市文化芸術振興事業委託	文化芸術の振興に向けて、幅広い年齢層の市民に対して、より身近に鑑賞の機会を提供、文化芸術の普及、市民参加の促進を目的とする事業	36,790　千円

4　市の財政的関与の状況

	令和7年度	令和6年度	令和5年度
補助金	15,000　千円	23,531　千円	10,000　千円
委託料	440,321　千円	410,131　千円	485,767　千円
うち指定管理料	403,531　千円	393,223　千円	330,522　千円
その他	0　千円	0　千円	0　千円

5 財務状況

①正味財産増減計算書

区　分		令和7年度	令和6年度	令和5年度
	経常収益	562,527　千円	533,253　千円	341,063　千円
	経常費用	529,391　千円	557,837　千円	351,244　千円
当期経常増減額		33,136　千円	△ 24,584　千円	△ 10,181　千円
	経常外収益	0　千円	0　千円	0　千円
	経常外費用	3　千円	0　千円	0　千円
当期経常外増減額		△ 3　千円	0　千円	0　千円
当期一般正味財産増減額		33,053　千円	△ 24,584　千円	△ 10,181　千円
当期特定正味財産増減額		0　千円	0　千円	0　千円
当期正味財産増減額合計		33,053　千円	△ 24,584　千円	△ 10,181　千円

※四捨五入の関係上、千単でずれる場合があります。

②貸借対照表

区　分		令和7年度	令和6年度	令和5年度
	流動資産	148,855　千円	115,488　千円	100,455　千円
	固定資産	22,223　千円	13,135　千円	24,088　千円
資産計		171,078　千円	128,623　千円	124,543　千円
	流動負債	86,573　千円	77,171　千円	48,426　千円
	固定負債	0　千円	0　千円	0　千円
負債計		86,573　千円	77,171　千円	48,426　千円
	指定正味財産	10,000　千円	10,000　千円	10,000　千円
	一般正味財産	74,506　千円	41,453　千円	66,117　千円
正味財産計		84,506　千円	51,453　千円	76,117　千円

※四捨五入の関係上、千単でずれる場合があります。

＜主な経営指標＞

区　分	令和7年度	令和6年度	令和5年度
流動比率 （流動資産÷流動負債）	171.9　%	149.7　%	207.4　%
自己資本比率 （正味財産計÷負債･正味財産）	49.4　%	40.0　%	61.1　%

6 経営評価の総括

項　目	外郭団体による総括	所管課による評価
①公益的使命･市が期待する役割への対応	財団設立以来、7期27年連続で高松市文化芸術ホールの指定管理業務を受託し、関係法令に基づき、安全･安心な貸館運営の提供に努めるとともに、文化芸術の振興及び地域社会の健全な発展を目的とする事業の実施に取り組んでいる。	ホールの指定管理者として利用者に公正･公平な提供を努めるとともに、自主事業で文化芸術の振興に向けた取り組みを行っている。 今後も財団の定款に沿った事業及び適切な運営が継続されることを期待する。
②業務･組織管理	事務局長を兼ねている常務理事を総括責任者とし、管理職員以下32名の嘱託職員で業務を実施している。また、舞台管理業務及び貸館の夜間業務については、外部委託により、コストの縮減、組織のスリム化に取り組んでいる。	コストの削減や組織のスリム化を行っているが、断続的に欠員が発生している。また、正規職員や専門職員がいないため、継続的かつ専門的な取り組みが少なく、解消に向けた努力を期待する。

③財務状況	令和7年度決算については、全国高等学校総合文化祭や高松国際ピアノコンクールなどの大型イベントの利用などによる利用料収益の増収などにより、会計全体で3,300万円余の黒字を計上することができたものの、現下の物価・人件費の高騰が常態化することで、今後、当財団財政状況のひっ迫も予想される。	令和7年度には大型イベントの利用などによる利用料収益の増収によって黒字を計上したが、利用料収入については依然として改善の余地があると考えられる。現在は指定管理業務とそれに関する収入以外の財源がなく、経営体制と合わせて事業全体の見直しを進め、計画的かつ持続可能な経営が図られることを期待する。
④今後の方向性及び課題	これまで培ってきたノウハウを生かし、今後とも高松市と連携しながら、適切かつ効率的な事業運営に取り組んでいくこととしているが、昨今の急激な物価・人件費の高騰が財団運営を圧迫している状況にある。 また、人手不足が社会問題となる中、当財団においても、今後、人員の確保が困難となることが想定され、その対応も課題となっている。徹底した経費の削減と自己財源の確保、各種補助金の活用を図ることで、経営の安定化に取り組んでいく。	高松市の文化芸術振興をけん引する団体である。その目的を達成するため、市民文化の創造と交流の拠点となるホールの管理運営・文化芸術振興に関する事業について今後も質の高い取り組みを進めるとともに変化する市民ニーズに応じた施設の管理運営・事業運営を、引き続き主体性を持って取り組んでいただきたい。 また、質が高く、市民のニーズに応えられる事業の実施や施設・事業についても、より戦略的な取組・方針に基づき行っていただきたい。

【再掲】各指標の推移







